

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生理系分野		小児病態生理学特論Ⅰ・Ⅲ				曹 英樹	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2,3,4		特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択		特論Ⅰ：4(2/年), 特論Ⅲ：1/年			
目的							
小児外科の研究者として、小児外科疾患の病態生理、手術等の治療効果の評価法を習得する。							
授業到達目標							
(1) 腸管不全の診断、治療について理解、説明できる。 (2) 腸管の再生医療について理解できる。 (3) 小児の低侵襲手術の評価について理解、説明できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	月	17:00-18:00	曹 英樹 吉田 篤史 久山 寿子	講義	[症例検討会]	患者データからその病態と治療方針を説明し、最新の文献を紹介する。 [場所:本館棟6階小児外科学実験室]
評価方法							
【特論Ⅰ】 (1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 【特論Ⅲ】 (1) 1年間※で、講義は15時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで、4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33頁：単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
提出された紹介論文の予約を確認し、解説・指導する。							
教科書							
ISBN-9780323072557, Pediatric surgery (7th Edition), Arnold G. Coran, et al., Elsevier Saunders, 2012							
参考書							
ISBN-9784260047968, 標準小児外科学, 仁尾正記, 奥山宏臣, 田尻達郎編集, 医学書院, 2022 ISBN-9784815919115, 系統小児外科学, 福澤正洋 他, 永井書店, 2013 ISBN-9784907095505, 最新新生児外科学, 窪田昭男, 奥山宏臣編集, ばーそん書房, 2019							
準備学習(予習・復習等)							
(1) 予習(30分程度): 手術のために入院してきた患者の評価を自ら行い、治療方針を立てる。 (2) 復習(30分程度): 経験した症例についてレポートを作成し提出する。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
独自の研究課題を報告し、胸壁異常の深い学識を獲得する。							
注意事項・メッセージ							
大学院生として小児外科学の勉強、研究に熱心に取り組んでください。							